

輸出事業計画

※申請者名：株式会社藤フード

品目：和菓子（串団子、大福、饅頭、ゆべし）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

弊社は、コロナ後の原料価格の高騰によりコストが上昇する一方、コスト上昇分を販売価格に転嫁できず利益が大幅に減少し、業績が低迷した。

コロナ収束後は売上が回復傾向にあるものの、国内市場では高齢化や人口減少の影響により、今後の需要は縮小すると見込んだ。このような状況を踏まえ、弊社は事業規模の成長のためには、輸出による売上げのさらなる拡大が必要であると考えた。

【課題】

①生産

輸出目標達成の為の材料、包装資材の使用量増加に対応した仕入先確保。

②製造

ISO22000認証の要求に応じた新工場の設計。

③物流

現在の外部倉庫に頼ることによる、無駄な物流の改善とISO22000認証取得を可能とする環境整備。

④販売

販売先の開拓、確保。

2. 輸出事業計画の取組内容

①生産

原材料、包材メーカーと計画を共有し、増大する供給量に対する準備いただく。ISO22000認証取得に伴い、品質基準を相互で共有し、一定の品質の原材料、包装資材が納品される環境づくりをする。

②製造

品質管理の専門家にアドバイスをいただき、新工場のISO22000認証取得を目指す。

③物流

新工場に冷凍、梱包、出荷の機能を持たせ移送の負担を大幅に軽減する。

④販売

営業担当者を新規雇用し、国内商社や飲食チェーンなどを通じて輸出につながる新規取引先の開拓を行う。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社藤フード

品目：和菓子（串団子、大福、饅頭、ゆべし）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

実施体制

【原材料、資材等の改善】

（材料仕入）
材料メーカー
（原料・包材の納入）



製造
株式会社藤フード

【品質評価等のフィードバック、販路拡大】



国内商社 等
海外向け輸出商社



JETRO



中小企業基盤
整備機構

商談会、展示会、輸出規制等の情報提供

【事業計画、プロモーション等の実施】

4. 輸出目標額

輸出品目：和菓子（串団子、大福、饅頭、ゆべし）

金額単位：千円

	現状（令和 6 年7月期）	目標年（令和12年 7 月期）
輸出額	16,500	117,009
輸出先国	米国	米国、香港、シンガポール、韓国、 オーストラリア、タイ、台湾